

静岡県福祉サービス第三者評価の結果

◎ 評価機関

名 称	(福)静岡県社会福祉協議会
所 在 地	静岡市葵区駿府町1-70
評価実施期間	19年10月10日~20年1月30日
評価調査者番号	①H17-a002
	②H16-b001
	③

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称： (施設名) 中里保育園	種別： 保育所
代表者氏名： (管理者) 青野 溥芳	開設年月日 昭和48年 4月 1日
設置主体： 社会福祉法人 福聚会 経営主体： 社会福祉法人 福聚会	定員 120 名 (利用人数) 129 名
所在地：〒417-0826 富士市中里1760-22	
連絡先電話番号： 0545-34-2471	FAX番号 0545-34-2476
ホームページアドレス	http://www.geocities.jp/~nakaho1973

(2) 基本情報

サービス内容 (事業内容)	施設の主な行事		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般保育 ・延長保育 ・一時保育 ・特定保育 ・病後児保育 ・地域子育て支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・クッキング保育 ・プール開き ・芋ほり ・生活発表会 ・花祭り ・シャボン玉大会 ・七夕祭り ・福祉祭り ・クリスマス会など ・観劇 ・遠足 ・運動会 ・豆まき 		
居 室 概 要	居室以外の施設設備の概要		
<ul style="list-style-type: none"> ・保育室 6 (0~5歳児別) ・一時保育室 1 ・病後児保育室 1 	事務室、子育て支援センター室、医務室、トイレ、ホール、厨房、プール、園庭、テラス、パティオ、ギャラリー		
職員の配置			
職 種	人 数	職 種	人 数
園長	1	看護師	1
保育士 (内非常勤)	19 (3)	事務員	1
調理員 (内非常勤)	2 (1)	社会福祉士	1
栄養士	1	保育補助	1

2 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◆ 特に評価の高い点

職員に対する福利厚生事業が積極的に行われています。

保育事業だけでなく、病後児保育、学童、子育て支援事業などを実施し、園庭や施設を開放するなど、地域の福祉ニーズに対応しています。

食に対する取り組みが充実しており、サツマイモ苗の植え付けや芋ほりを保育活動の一環としている他、クッキング教室の開催など、食に関心が持てるように支援しています。

園舎内は採光や風通しが良く、エアコンの設置や床暖房など、快適性への配慮がなされています。プランターに季節の花を植栽しパティオ等に置くなど工夫しています。

ギャラリーや講堂があり、天候に左右されないで活動できるスペースがあります。

衛生面への配慮がなされ、トイレには沐浴槽を設置し、清潔が保てるようにしています。年長児のトイレには、パーテーションやドアを設置し、プライバシーの配慮がなされています。

本の読み聞かせや劇遊びなど、文字や言葉に関心が持てるような支援がされています。また、様々な表現活動ができるよう配慮されています。

◆ 特に改善を求められる点

理念や基本方針の実現に向けた具体的な中・長期計画の策定が求められます。また、客観的な基準に基づく人事考課について、人材育成の観点から導入の検討が期待されます。

利用者満足の向上について、保育参観会や懇談会を実施し、臨機応変に対応していますが、組織としての基本姿勢を明示し、保護者の意向を活用する仕組みの整備が求められます。

保育サービスについて、自己評価を定期的に行っていますが、今後は課題の明確化や課題に関する改善計画を策定し、組織として職員が一丸となり取り組むことが求められます。

クラスごとの指導計画を作成していますが、保護者の意見を取り入れ、一人ひとりのニーズや目標、具体的な支援方法を個別支援計画で明文化する取り組みが期待されます。また、作成した支援目標の評価・見直しを行い、次の計画へ反映する仕組みづくりが求められます。

3 第三者評価結果に対する事業者のコメント

評価結果を真摯に受け止め、より良い保育の提供と、特に評価の低かったところはその原因を探り改善に努めてまいります。

利用者の意向も十分尊重し、利用者から信頼される保育園運営に努めてまいります。

第三者評価を新たなスタートとして職員一同頑張っております。

4 評価分類別評価内容

<p>評価対象Ⅰ</p> <p>1 理念・基本方針</p>	<p>*理念や基本方針を明文化している。</p> <p>*理念や基本方針を周知するための取り組みは実施しているものの、周知状況の確認はしていない。</p>
<p>2 計画の策定</p>	<p>*中・長期計画を策定していない。</p> <p>*計画の策定は、幹部職員で策定しており、その他の職員の参画は十分でない。</p> <p>*計画を周知するための取り組みは実施しているものの、周知状況の確認はしていない。</p>
<p>3 管理者の責任とリーダーシップ</p>	<p>*責任者としての役割分担はあるが、管理者としての責任や役割の表明は特段行っておらず十分でない。</p> <p>*経営や業務の効率化について意識はあるが、改善に向けた取り組みに十分な指導力を発揮するには至っていない。</p>
<p>評価対象Ⅱ</p> <p>1 経営状況の把握</p>	<p>*具体的な情報やデータを整理していない。</p> <p>*経営状況を分析し、改善点を見つけるための組織的な対応がされていない。</p> <p>*公認会計士の指導は受けているが、指摘事項や改善の記録がない。</p>
<p>2 人材の確保・養成</p>	<p>*実習生の受け入れ体制を整備し、効果的な実習プログラムになるよう指導等している。</p> <p>*職員の福利厚生について、積極的に取り組んでいる。</p> <p>*職務分担表はあるが、職制や職務分掌は明確にしていない。</p> <p>*職員配置等については、理事会資料で確認できたが、必要な人材に関する具体的なプランとしては十分でない。</p> <p>*人事考課は実施していない。</p> <p>*内部研修について研修計画はあるも、外部への研修については、職員個々の研修計画は作成していない。</p>
<p>3 安全管理</p>	<p>*発生した事故やヒヤリハット事例は把握し、事故防止に向けて取り組んでいる。</p> <p>*様々なマニュアルを整備しているが、内容が手順書としては不備なものがある。</p>

<p>4 地域との交流と連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> *一般保育のみでなく、特別保育や病後児保育を実施し、また施設や園庭開放をしたりして、事業所が有する機能を、地域住民に還元している。 *ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明示し、受け入れ体制を整備している。 *地域との関わりについて、行事等で交流しているが、基本的な考え方を明文化したものが無い。 *関係機関との連携を取っているが、具体的な課題や事例検討などは行っておらず十分でない。
<p>評価対象Ⅲ</p> <p>1 利用者本位の福祉サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> *子どもたちの嗜好を把握して、食事を楽しめるような工夫とともに、調理師や栄養士は献立表の裏に栄養素や献立のレシピを載せて毎月配布するなど、食育に配慮している。 *建物設備が新しく、清潔や排泄時の快適性に配慮している。 *懇談会を開催し、意見箱を設置しているが、利用者の満足向上への取り組みは明示していない。 *サービスの質の向上に関する課題は随時対応しているが、改善計画を策定して実施する体制にはなっていない。
<p>2 サービスの質の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> *保育環境について配慮し、子どもたちがくつろげるよう取り組んでいる。 *看護師が常駐することで、健康面への配慮がなされている。 *絵本の読み聞かせや保育士の手作り絵本・劇遊びなど、文字や言葉・表現に関心を持たせるような関わりがされている。 *床暖房をとりつけ、乳児保育の環境整備に努めている。 *組織における個々の保育について、標準的な実施方法はあるが、見直しの時期や検討会の開催などは決められていない。
<p>3 サービスの開始、継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> *市や園独自のホームページを開設し、情報公開に努め、行事見学、体験保育に対応している。 *保育サービス等の説明は、保育のしおりで説明している。 *サービスの継続性に関しては、園を変更した、または家庭に移行した対象児がいないことから、手順等の定めやそれに関する書類はない。
<p>4 サービス実施計画の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> *年度の始めに、定められた様式の間診表に記載してもらい、家庭状況調査票などで、家庭の状況、子どもの特質を把握している。 *子どもの状況が、計画責任者である副園長に伝わる仕組みがある。 *保育計画や年齢別指導計画は作成しているが、子ども

	一人ひとりの保育ニーズの明示や課題を具体的に明示していない。 *必要に応じて除去食や代替食を提供しているが、個別計画に具体的な支援方法を明示していない。
--	---

5 評価細目の第三者評価結果

注：評価結果については、判断基準に基づいて評価した結果を3段階（A、B、C）で評価細目ごとに表す。

なお、表には評価項目の番号や評価細目の基準内容を明記し、評価分類ごとに区分する。

5 評価細目の第三者評価結果〔保育所〕

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
①	理念が明文化されている。	A
②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
①	理念や基本方針が職員に周知されている。	B
②	理念や基本方針が子どもや保護者等に周知している。	B

I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
①	中・長期計画が策定されている。	C
②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	C
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
①	計画の策定が組織的に行われている。	B
②	計画が職員や子どもや保護者等に周知されている。	B

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B
②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B
②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B
②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	B
③	外部による評価・監査が実施され経営改善に取り組んでいる。	B

II-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
①	保育所内の組織について職制・職務分掌を明確にしている。	B
②	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B
③	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B
②	職員に対する福利厚生事業が積極的に行われている。	A
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行なわれている。	B
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
①	実習生の受け入れに関する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A
②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A

II-3 安全管理

		第三者評価結果
II-3-(1) 子どもの安全を確保するための取り組みが行われている。		
①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
②	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A
③	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	B
④	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	B
⑤	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	B
⑥	発生した事故を把握している。	A
⑦	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	A
⑧	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
⑨	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	B

Ⅱ-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
①	小学校との間で、小学生と園児が交流機会を設け、職員間の話し合いや研修等の連携の機会をもっている。	B
②	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B
③	事業所が有する機能を地域に還元している。	A
④	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	必要な社会資源を明確にしている。	B
②	関係機関等との連携が適切に行なわれている。	B
③	虐待を受けていると疑われている子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに施設長まで届く体制になっている。	B
④	虐待を受けていると疑われている子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行なう体制が整っている。	A
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
①	地域の福祉ニーズを把握している。	B
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
①	職員が子どもに対する不適切な関わりを行わないようその防止と早期発見に取り組んでいる。	B
②	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	B
③	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	B
④	子どもや保護者等のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B
⑤	子どもや保護者等を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行なっている。	B
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	C
②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	C
③	子どもの嗜好の把握に努め、家庭への食事に対する支援や情報提供など、食育に配慮している。	A
④	子どもの嗜好に応じたメニューの提供や、子どもが食事を楽しむことができるような工夫をしている。	A
⑤	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A
⑥	沐浴・清拭時の快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。	A
⑦	排泄時の快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。	A

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	① 施設等の運営に関して保護者等の意見を聞くための取り組みを行っている。	A
	② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B
	③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B
	④ 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B
	⑤ 相談援助の困難な場合について対処方法がルール化されている。	B
	⑥ 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面接などを行なっている。	A
	⑦ 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	C
	⑧ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A

Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
	① 保育サービス等について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
	② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B
	③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	C
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
	① 園児一人ひとりの保育について配慮された指導計画が作られている。組織における個々の保育についての標準的な実施方法が定められている。	B
	② 登降園時や保育中の子どもへの対応の標準的なマニュアル等が整備され、定期的な見直しが行われている。	B
Ⅲ-2-(3) 生活環境が適切に整備されている		
	① 保育室の採光、換気、温湿度、清潔な子どもの生活空間への配慮がなされている。	A
	② 子どもが落ち着けたりくつろげたりするための工夫がなされている。	A
Ⅲ-2-(4) 保育内容が様々な子どもの発達の特性を考慮して展開されている。		
	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	A
	② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
	③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
	④ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている。	A
	⑤ 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	A
	⑥ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	A

	⑦ 絵本、物語などに親しみを持ち、文字、言葉、会話などに興味や関心をもてるような配慮がされている。	A
	⑧ 遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A
Ⅲ-2-(5) 子どもが自発的に活動できるように遊びの環境が配慮されている。		
	① 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A
Ⅲ-2-(6) 子どもへの人権、文化の相違、性差等の配慮がされている。		
	① 子どもの人権に十分配慮し、文化の違いを認め尊重する心を育てたり、性別による固定的な観念や役割分担意識を植え付けないような配慮をしている。	A
Ⅲ-2-(7) 特別な保育への対応や配慮が行われている。		
	① 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	② 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	B
	③ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	④ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行なっている。	B
Ⅲ-2-(8) サービス実施の記録が適切に行われている。		
	① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行なわれている。	B
	② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B
	③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
	② サービスの開始にあたり、利用者等に説明し同意を得ている。	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	C

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
	① 定められた様式・手順に従ってアセスメントを行なっている。	B
	② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者等の意向等を考慮して作成されている。	B
	② 課題に対する指導計画が関係職員の連携のもとに作成されている。	B

③ 食事（栄養管理を含む）について、アレルギー疾患など支援が必要な子どもに対して個別・具体的な支援方法が明示されている。	B
④ 沐浴・清拭について、支援が必要な子どもの指導計画に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。	C
⑤ 身だしなみや清潔保持について、具体的な支援方法が明示されている。	C
⑥ 子どもや保護者等の心理面に着目した支援を行なっている。	B
⑦ 指導計画の評価を定期的に行ない、その結果に基づき、指導計画を改定している。	B
⑧ 必要に応じ保護者等への「説明」と「理解」または「同意」に努めている。	B
⑨ 子どもや保護者等の情報が保育計画、指導計画の責任者に確実に伝わる仕組みがある。	A
⑩ 保育計画・指導計画を適切に策定している。	B
⑪ 保育計画・指導計画の評価・見直しを行なっている。	B